

若手人材育成部会・研究支援報告書

氏名	坂本 由唯
所属大学名	弘前大学
職位または学年(学生の場合)	助教
申請内容(渡航先、参加学会、ワークショップ等)	INSAR 2021 Virtual Annual Meeting
実施年月日	2021年5月3日～同年5月7日
内容報告	<p>5歳児における血漿オキシトシン(OT)濃度と神経発達障害の発達特性との関連について男女別に解析し、ポスター発表を行った。解析の結果、OT濃度は、男女別診断群間で有意差はなかったものの、定型発達(TD)群では女児の平均OT(conc.=5.0983)が男児の平均OT(conc.=3.7175)よりも有意に高く($p<0.05$)、注意欠如多動症(ADHD)群とTD群では女児の方が男児よりもOTが高い傾向があった。一方、自閉スペクトラム症(ASD)群では女児のOTは男児よりも低い傾向がみられた。以上より、OTと発達特性との因果関係については言及できないものの、未就学児の発達特性に対するOTの影響は性別によって異なる可能性が示唆されたことを発表した。</p> <p>学会において印象的だったのは、COVID-19に関する複数のポスター発表である。自閉スペクトラム症を有する青年や成人を対象に、コロナ禍におけるストレスや抑うつ、支援体制や他者とのネットワークの変化などについて調査した研究が報告されていた。これらは、主にアメリカやイスラエルなどで実施された調査であった。2020年2月のWHOがCOVID-19と命名してから1年余りが経過したタイミングでの学会開催だったが、COVID-19に関する調査が報告されるというスピード感を目の当たりにした。情勢は日々刻々と変化しているが、速やかに現状を把握することが、今もしくは今後行っていくべき問題解決や支援体制の構築につながる。私も日本のコロナ禍において発達障害を有する人々を取り巻く現状や問題点を調査し、必要な支援体制の構築に貢献したいと考えた。</p>
備考	